

南ア月報
(2022年1月)

【内政】

- ツツ元大主教の葬儀
- 国会議事堂での火災発生
- ANC 創立 110 周年記念行事の実施
- 国家的災害事態の延長
- 新型コロナウイルス感染者や（濃厚）接触者の隔離期間の変更

【外政】

- SADC 臨時首脳会議
- ヒチレマ・ザンビア大統領のラマポーザ大統領表敬

【経済】

< 経済指標 >

- 消費者物価
- 為替レート
- 製造業生産高
- 鉱業生産高

< 出来事 >

- 新しいワクチン製造施設を設立
- 南ア準備銀行(中銀)が政策金利を 4.00%に引き上げ
- ドイツ政府、南アのグリーン水素経済を約 7 億ランドの助成金で支援

【警備】

- 南ア治安情勢（追尾強盗）

1 内政

●ツツ元大主教の葬儀

1日、南ア政府主催により、ツツ元大主教の葬儀がケープタウンにて実施された。

●国会議事堂での火災発生

2日、南ア国会議事堂の一部区画において火災が発生し、国民議会及び全国州評議会の施設が損傷を受けた。

●ANC 創立 110 周年記念行事の実施

8日、ANC 創立 110 周年記念行事がポロクワネ（リンポポ州）にて行われ、ラマポーザ大統領が ANC 総裁として同党の声明を発表した。

●国家的災害事態の延長

14日、南ア政府は国家的災害事態（the national state of disaster）の1ヵ月延長（2022年2月15日まで）を発表した。

●新型コロナウイルス感染者や（濃厚）接触者の隔離期間の変更

1月31日に開催された臨時閣議において、COVID-19に関する「調整された警戒レベル1」の規定変更が承認された。パンデミックの推移と国内でのワクチン接種のレベルに基づき、内閣は、「調整された警戒レベル1」に以下の変更を行い即時発効させることを決定した。

- 1 無症状の検査陽性者は、隔離する必要はない。
- 2 有症状の検査陽性者の隔離期間は、10日間から7日間に短縮。
- 3（感染者との）接触者は、発症しない限り隔離する必要は無い。

2 外政

●SADC 臨時首脳会議

1月11日～12日、ラマポーザ大統領及びパンドール国際関係・協力大臣は、マラウイの首都リロングウェで開催されたモザンビーク北部のカーボ・デルガード州に関するSADC 臨時首脳会合に出席した。同首脳会合では、カーボ・デルガード州へのSAMIM（SADCモザンビーク・ミッション）派遣期間3ヶ月延長及び次の3ヶ月では同州の復興支援が行われることが発表された。同会合に先立ち、1月5日、パンドール国際関係・協力大臣はSADC 政治・防衛・安全保障オーガン・トロイカ閣僚級臨時会合をオンライン開催し、SADC 臨時首脳会合で提出されたSAMIMの財政状況を支援すべく枠組みを草案した。

●ヒチレマ・ザンビア大統領のラマポーザ大統領表敬

1月26日、ラマポーザ大統領は大統領公邸において、ヒチレマ・ザンビア大統領の表敬を受けた。両大統領は、本年後半に設置予定の二国間委員会に関する意見交換を行い、また、南アとザンビアが肩を並べて互いへの投資機会の模索を継続し、地域の発展に寄与する分野（選鉱、現地製造、農業等）への積極的な投資を企業に推奨することの必要性につき認識した。

3 経済

<経済指標>

●消費者物価

2021年12月の年間消費者物価インフレーション率は5.9%で前月(5.5%)に比べ0.4%上昇した。これは、2017年3月(6.1%)以降、最も高い年間上昇率となった。消費者物価指数(CPI)は前月から0.6%上昇した。(南ア統計局、1月19日)

●為替レート

2021年1月31日付(南ア準備銀行)

7.4181 ランド/円

15.5519 ランド/米ドル

17.3894 ランド/ユーロ

●製造業生産高

2021年11月の製造業は、前年同月比0.7%減。主なマイナス要因は、石油、化学製品、紙、ゴム及びプラスチック製品で13.6%減。家具その他製品で7.9%減。

また過去3ヶ月(2021年9月~11月)の季節調節後生産高は2021年6月~8月の3ヶ月から2.2%増。製造業10部門中の7つの部門で生産高増となった。(南ア統計局、1月11日)

●鉱業生産高

2021年11月の鉱業生産高は、前年同月比5.2%増。主なプラス要因は、白金で38.1%増。鉄鉱石で9.3%増。他方で、主なマイナス要因は、石炭で7.9%減。

また過去3ヶ月(2021年9月~11月)の季節調節後生産高は2021年6月~8月の3ヶ月から1.6%増となった。(南ア統計局、1月18日)

<出来事>

●新しいワクチン製造施設を設立

「NantSA」と名付けられたワクチン製造施設は、世界的に有名なヘルスケア科学者であるパトリック・スン・シオン(Patrick Soon-Shiong)博士と同博士保有の企業NantWorks LLCの協力のもと、ケープタウンに新設された。この施設は、主にアフリカ大陸のワクチン製造と製薬能力を構築することを目的としており、新しいCOVID-19ワクチンの開発も含まれる。また、ラマポーザ大統領は、アフリカ向けの医薬品、生物学的製剤、ワクチンの現地生産を加速させることを目的とした「アフリカ先端医療アクセス加速連合(AAAH連合)」の結成を発表した。

●南ア準備銀行(中銀)が政策金利を4.00%に引き上げ

27日、南ア準備銀行は金融政策決定会合を開き、政策金利を4.00%に引き上げることを発表した。3年ぶりに利上げが行われた前回(昨年11月)に続き、本会合においても利上げを決定した。また、2022年のインフレ率を3.8%、GDP成長率を1.7%と予想した。

●ドイツ政府、南アのグリーン水素経済を約7億ランドの助成金で支援

ドイツ経済協力開発省は、南アのグリーン水素経済推進のために約4000万ユーロ(約7億ランド相当)の助成金支給を約束。4,000万ユーロの内訳は、①H2.SA(当館注:戦

略的および規制的枠組みの開発を通じて、南アのグリーン水素経済の発展を具体的に促進する南ア大統領府とドイツ国際協力銀行が提携して行うイニシアチブ。) に対して 1,250 万ユーロ、②南アフリカ・ドイツ・エネルギー計画(SAGEN:South African German Energy programme) - CET (当館注:ドイツ経済開発協力省とスイス経済事務局(SECO)の共同出資の下、ドイツ国際協力銀行が、鉱物資源エネルギー省(DMRE)、財務省(NT)、Eskom、南ア地方政府協議会(SALGA)と協力して実施される。) に対して 250 万ユーロ、③金融協力プロジェクト「グリーン水素の推進」に対して 2,500 万ユーロ。また、ドイツ政府は、ドイツの開発銀行(KfW)を通じて、公共および民間部門のグリーン水素プロジェクトに 2 億ユーロ(約 35 億ランド)の譲許的融資を別途約束。

4 警備

●南ア治安情勢(追尾強盗)

旅先、買い物先などからの帰宅時、自宅まで追尾してきた武装強盗犯に襲撃され、スマートフォン、貴金属、現金などの所持品を強奪される追尾強盗の被害が後を絶たない。

現金を出金した後や高額商品を購入した後、高級な貴金属を身につけていた場合など標的になることが多いため、これらの機会の後は特段に帰宅時に不審車(者)がいなか警戒を行い、華美な装飾品を身につけることは控え標的にならない工夫が肝要である。

車で帰宅する際、随時バックミラーなどで後方を確認し、追尾されている可能性がある場合、自宅には戻らず、警察署や警備員が配置されている店舗などへ走行しつつ、警察や契約警備会社などに通報して援護を求めるなどし、安全を確保する必要がある。